

しおつか
国道208号 塩塚歩道整備事業

概要

本事業は、歩行者自転車道を整備することにより、児童を含む歩行者等の安全・安心な歩行空間を確保するとともに、右折レーン設置により交差点における交通事故防止を図るものです。

現状

当該箇所は、近傍に豊原(とよはら)小学校や西鉄塩塚(にしてつしおづか)駅が立地しており、交安法第3条に基づく通学路に指定され利用されていますが、大型車交通が多いにもかかわらず歩道が未整備であるため、児童を含む歩行者の安全が確保されていない状況です。また、塩塚(しおつか)交差点においては、右折レーンがないため右折待ち車両による直進阻害及び追突事故等が発生しています。

今後

平成29年度は、用地買収及び工事を推進します。

整備効果

歩道整備により、安心・安全な歩行空間の確保を図ります。
【死傷事故率(H23～H26)： 367件/億台キロ】

【位置図】

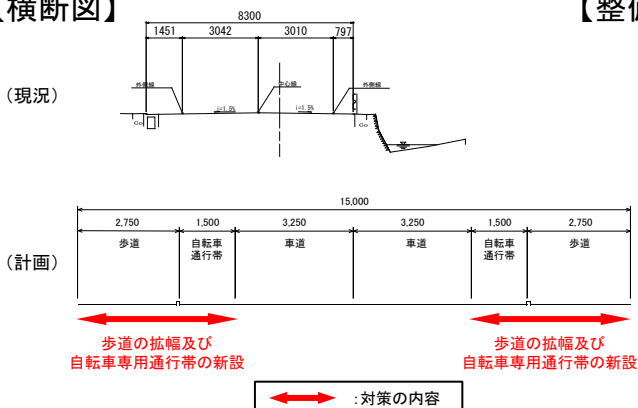


【位置平面図】



「この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。」

【横断図】



【整備前状況写真】



歩道が無いため狭い路肩を通行する小学生